

## 2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 2 月 13 日作成)

小委員会名	建築音響測定法小委員会		主 査 名：赤尾伸一 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (音環境運営委員会)		委員長名：加藤信介 主 査 名：平松友孝
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2009 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ISO 10052 の読み合わせを行い実際に現場測定に適用し問題点等の検討を行う。</li> <li>・板のインピーダンス測定に関し、解析上の問題点等の検討を行う。</li> <li>・Labs に関してこれまでの委員会成果をまとめる。</li> </ul>		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：なし		
	赤尾伸一(三井住友建設)、宮島徹(清水建設)、山内崇(戸田建設)、石渡智秋(永田音響設計)、 織田慎一(NHK 技術局)、古賀貴士(鹿島建設)、坂本慎一(東大生研)、杉江聡(小林理研)、 高橋央(ベターリビング)、坪井政義(大林組)、浜田幸雄(日本大学)、平光厚雄(独 建築研究所)、 村上剛士(日総試)、矢野博夫(千葉工大)、吉村純一(小林理研)		
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2006 年度予算	53,000 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス：なし	

項 目	自己評価
委員会開催数	7 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1 . ISO 10052 について測定を二回行い、結果の検討をおこない予定を達成した。 2 . 2005 年度の測定データの検討および新たに 1 回測定を行い予定を達成した。 3 . Labs については、これまでの活動成果をとりまとめ、予定を達成した、
委員会活動の問題点 ・課題	なし

\* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。

\* 環境本委員会傘下の小委員会においては、上記の活動成果報告書に加えて、以下の自己評価を記入すること。

\* 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

## 2006 年度 小委員会活動 自己評価

### (中間年度評価)

<p>総合評価 (4段階評価)</p>	<p>A</p>
<p>総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</p>	<p>1．短時間測定法 ISO10052 に関する検討                  実験室においてマニュアルスキャンの検討のための共同測定を行なった。スキャンの経路・速度や測定位置、音源種類などの違いが室内平均音圧レベル測定結果に与える影響を検討した。さらに、現場での共同測定を行い、道路交通騒音を遮音測定の声源として適用する方法の精度検証を行った。また、規格では対象外となっている鉄道騒音を音源とする方法についても適用の可能性について検討した。</p> <p>2．板のインピーダンス測定方法の検討                  板のインピーダンス測定法の標準化を目的として検討を行っている。2005 年度に行った均質単板でのデータの検討を行い、さらにポイドスラブを対象とした共同測定を行い、測定方法の妥当性の検討を行った。</p> <p>3．Labs 測定方法のまとめ                  Labs 測定方法については、これまでの活動成果をとりまとめた。</p> <p>これらの成果を 2007 年度本学会大会に発表する。</p> <p>1．ISO10052 については 2 編                  2．板のインピーダンス測定についてはオーガナイズドセッションに 1 編。</p> <p>以上、当初の予定を達成した。</p>

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
  - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
  - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
  - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
  - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。